

第5回神崎中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成27年2月10日（火）19：00～20：30

場所：こうざき小学校1階ホール

○出席者 28名（内代理出席 2名）、欠席者 1名

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

3. 議 事

（1）統合に伴う通学支援について

- ・木佐上小学校区、大志生木小学校区から通学支援についての要望について報告

①木佐上小学校区から

【委員】 こうざき小学校へ統合となった時の旧木佐上小学校の児童に対する通学の支援、並びに旧木佐上小学校区内の児童と未就学児童についての通学支援についての要望である。支援内容については通学に伴う通学タクシーの運行並びに統合に伴う通学児童への燃料費についてである。

通学タクシーの運行については、区間をこうざき小学校と旧木佐上小学校間を基本とし、乗降場所はこうざき小学校の児童の安全性を考慮して検討中である。途中の乗降場所は年度毎に検討できるようにしている。

次に、通学の時間帯だが、往路と帰路で便数を分け学校事情に応じ、便数と通学時の時間帯を決められるようにしている。

支援を受ける対象者だが、旧木佐上小学校区内の児童でこうざき小学校までの通学距離が2.5キロ以上となる家庭で、学校側と保護者間で通学路の協議を行ったのち、支援の有無を決定することとしている。

通学タクシー利用に関する連絡方法については、学校、各家庭、委託タクシー会社と連絡が十分にとれ、遅刻や事故への遭遇が最小限におさえられるようにしている。

支援期間は、木佐上小学校区内に0歳児在住との確認がとれたため、現時点での0歳児が小学校を卒業するまでの12年間を最長としているが、通学路の状況に大きな変化が生じた場合には、見直しができるようにしている。

最後に、燃料費補助については、対象者と支援期間については通学タクシーと同様の条件とし、支援内容については大分市小中学校児童生徒遠距離通学費補助金制度と同様としている。

以上の通学支援に関する要望書を1月19日、教育長あてに提出している。

残された課題として、幸崎駅周辺の県道57号線の改善だが、旧木佐上小学校区内だけの問題ではないという認識から、既こうざき小学校区や神崎中学校区並びに木佐上小学校区で教育委員会と連絡をとりながら改善を図っていく事を確認した。今後、当地域協議会でも駅周辺の道路の改善について検討を進め

てもらいたいという要望がある。

②大志生木小学校区から

【委員】 通学支援についてはこれから協議になるが、木佐上小学校区の動向をみながら通学タクシー及び燃料費の支援に加え、路線バスの利用についても考えている。

<質疑なし>

(2) 今後予想される日程（案）について

①大志生木小学校区から

・大志生木小学校区から、平成28年4月に統合したいとの意向が報告される。

<主な報告事項>

【委員】 1月11日に保護者会を行い、その中での意見として、児童数、家庭数の減少が進んでくる。かなり家庭に負担がかかってくるため、今のうちに考えないといけないということで28年4月に統合という意見となった。

【委員】 保護者会の集約を受けて、大志生木小学校区の区長会に報告をし、今後の取り組みについて検討した。今後は大志生木区、小志生木区でそれぞれ運営委員会及び総会の場で報告をして協議を重ねていきたいと考えている。保護者会の意向や現状を理解したうえで地域としての統廃合についての明確な判断や閉校に向けての協議をしていきたい。

<確認事項等>

大志生木小学校については28年度からこうざき小学校に統合ということを本協議会での合意として確認した。

②予想される日程（案）について

・地域協議会における合意形成、報告書の提出、教育委員会の実施計画策定、閉校・統合に係る協議、3小学校の統合完了、統合後の学校のあり方に関する協議など、今後予想される日程（案）について、資料をもとに事務局より説明する。

<主な質疑応答>

【委員】 今後の地域協議会の組織について、今年木佐上小学校が統合という形になると思うが、木佐上小学校区の人たちは地域協議会から抜けるのか。

また、実際に校歌や校章とかは統合してしまったら、変えるとか変えないとかそんな話はする必要がなくなるのではないかと、今こうやって3校区の方がいる状況だからこそ、こんな話ができるのではないかと。

【事務局】 地域協議会を立ち上げた時に、本来3校同時に統合という話をしていて、今年木佐上小学校が早く統合する形となったが、統合後も校区の代表として、地域協議会としては今の形で話し合いをさせていただき事をお願いしている。地域協議会として教育委員会へ報告書を提出するまでは今の形をお願いしたい。

それと、統合後の学校のあり方に関する協議については、28年から、実際に一つの学校になっているので、こういったメンバーがよいのかという事についても話し合いながら、新たな組織のなかで決めていけばよいと思う。

- 【会 長】 報告書を提出したあとも、大志生木小学校区とは通学支援などいろいろな問題を引き続き協議していくのか。
- 【事務局】 大志生木小学校区については、木佐上小学校区と同様に、通学の支援という事でいうと、自家用車、タクシーを誰が使って、どういうルートを通るとかいった細かい事について報告書提出以降は話をさせていただく。
- 【会 長】 委員が心配しているのが、報告書を提出したあと、地域協議会がなくなれば大志生木小学校区が通学の条件をいろいろ詰めていく時の後ろ盾がなくなるという事だと思う。それと、実施計画を教育委員会がつくっていくという事なんだが、それに関してもこちらの意見を反映させるためにも協議会の存続が必要だと思うのだが。
- 【専門委員】 この地域協議会がはじまる時に、教育委員会のほうから案を示し、規約の中に報告書を出すというのが一つの大きな目標としてこの会が立ち上がっている。今後報告書を出したあとの、28年度以降に関しても、いろんな意見を聞かせてもらうというのは教育委員会もそういうスタンスを持っているので、例えば、規約の中でも、報告書を出すだけではなくて、その後に関しても、地域の意見として協議会でまとめていきたいという事であれば、規約を改正してでもそのような意見を受け止めていきたい。
- 【委 員】 「報告書の取りまとめ、教育委員会に提出」の時期について、27年度前期とあるが、いつ頃を言っているのか。
- 【事務局】 28年4月に統合という場合、大志生木小学校が廃校になるという条例を12月議会で出さないといけない。その前に教育委員会でも方向性をもっていかなければならない。今までだと大体9月までに、遅くても10月までにそういう報告をいただき、統合に向けた協議をしている。遅くても10月までにそういう協議をまとめていただく必要がある。

<確認事項等>

- ・27年半ばまでに協議会としての合意形成に基づき教育委員会に報告書を提出すること。
- ・27年度中に大志生木小学校区において閉校・統合に係る協議を行い、教育委員会が「神崎中学校区適正配置実施計画」を策定した上で平成28年4月に3小学校の統合を完了すること。
- ・平成28年度から統合後の学校のあり方に関する協議を行うこと。
- ・28年4月の3校統合までは、この地域協議会を継続すること。

(3) その他

第6回地域協議会の開催について

- ・次回の地域協議会日程について事務局より説明した。

<確認事項等>

- ・通学の支援については木佐上小学校区と協議したように、大志生木小学校区と教育委員会で検討を進めること。
- ・第6回地域協議会を3月18日（水）の19時から、こうざき小学校1階ホールで行うこと。

4. 閉会のことば